

2021 年 5 月 18 日

各 位

旭化成建材株式会社

— 「住宅内の空気・換気に関する意識と実態」 調査結果について —

**自宅のきれいな空気への意識が高まる一方で、
「換気ができていると思っていない」と回答した人の割合は半数以上に。
生活者の換気に関する知識と情報収集の少なさも明らかに。**

旭化成建材株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山越 保正）快適空間研究所*¹（以下、「快適空間研究所」）は、これまで住まいの温熱環境（あたたかさ・涼しさ）に関する調査を実施し、温熱環境を軸に生活者の意識や満足度に関する情報を発信してきました。快適な温熱環境を実現するためには、「断熱」「気密」「換気」などの要素が必要ですが、この度、その要素の一つである「換気」について、人々の意識や知識、換気行動の実態、新型コロナウイルス感染拡大前との変化などを調査しましたのでご報告します。

I. 調査結果のトピックス

1. 換気に関する意識、知識について

1) 室内の「空気のきれいさ」「換気」への関心が高まっている

- ・冬の室内環境で最も大切にしていることでは、「室内の空気のきれいさ」が 26.2%で「温度」について 2 番目に高い。
- ・新型コロナウイルス感染拡大前と比較して「室内の空気のきれいさ」「室内の換気」への関心が高まった人は半数以上。

2) 換気の法律に関する知識は少なく、情報収集をしている人も少ない

- ・24 時間換気の義務化について「聞いたこともない」「聞いたことはあるが意味は知らない」は築 10 年以内の家に住んでいる人の 48.5%。
- ・換気の知識・情報について、「積極的に知識や情報を収集した」が 7.6%に留まる。

3) 「自宅の換気ができていると思っていない」と回答した人の割合は半数を超える

- ・24 時間換気システムを利用していると回答した割合は、築 10 年以内で 63.4%に留まる。
- ・「自宅の換気ができていると思っていない」と回答した人の割合は 50.8%で、半数を超える。

2. 換気に関する行動について

1) 換気方法は、「定期的に窓を開けていた」が最も多く、窓開け回数が増えている

- ・新型コロナウイルス感染拡大前と今年の冬ともに、「定期的に窓を開けていた」が最も多く、換気方法にはほぼ変化がなかった。
- ・窓開け回数が「増えた」人は 52.7%、効果的な対面 2 か所以上*²の窓開け換気を実施している人は 40.4%。

2) 24 時間換気システムが適切に利用できていない可能性

- ・ 24 時間換気システムのスイッチを入れていない人が 4 割近くに上る可能性。
- ・ 換気口（排気口や給気口）を開けている人、定期的な掃除をしている人はともに 16.9% しかいない。

II. 調査概要

1. 調査目的：コロナ禍における人々の住宅内の空気や換気に関する意識や知識、行動の実態などを把握するため。
2. 調査時期：2021 年 3 月 5 日（金）～3 月 9 日（火）
3. 調査対象：①全国 22 都道府県（北海道、宮城県、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、岡山県、広島県、香川県、愛媛県、福岡県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）
②30～60 歳男女 持家・建住宅居住者、持家・賃貸マンション居住者
③同居 2 人以上 （回答者数：1752 名）

III. 主な調査結果

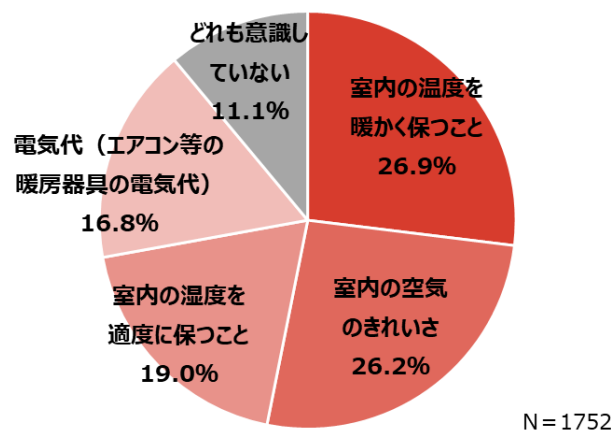
1. 換気に関する意識、知識について

1) 室内の「空気のきれいさ」「換気」への関心が高まっている

①冬の室内環境で最も大切にしていることでは、「室内の空気のきれいさ」が 26.2%

新型コロナウイルス感染拡大につながる“3 密”（密閉・密集・密接）の、「密閉」を回避する手段として、室内の「換気」や「空気のきれいさ」の重要性は改めて注目されるようになりましたが、冬の室内環境で最も大切にしていることについては、「室内の空気のきれいさ」が 26.2%で「室内の温度を暖かく保つこと」について 2 番目に高くなっています [グラフ-1]。

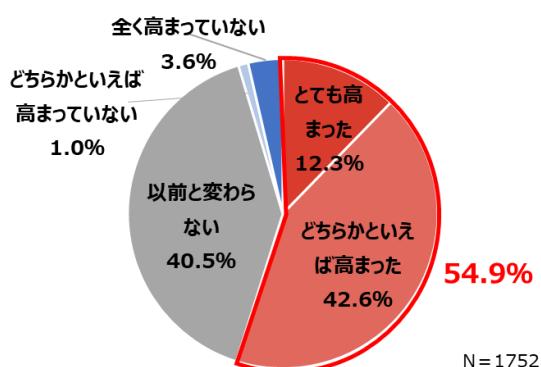
[グラフ-1] 今年の冬、室内で過ごしていた時、次のうちどれを最も大切に考えていましたか。



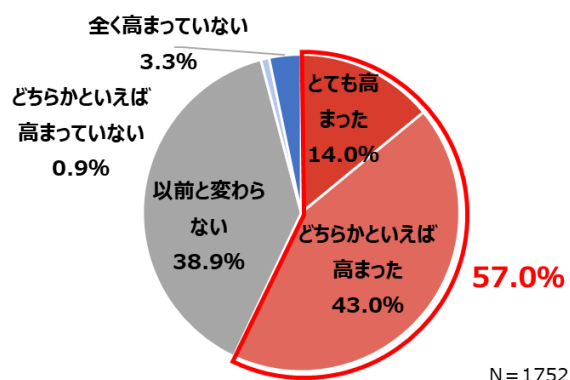
②新型コロナウイルス感染拡大前と比較して「室内の空気のきれいさ」「室内の換気」への関心が高まった人は半数以上

次に、自宅の「室内の空気のきれいさ」や「室内の換気」への意識はどのように変化したのかについて聞きました。「新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、自宅の室内の空気のきれいさへの関心が高まった割合」（「とても高まった」「どちらかといえば高まった」合計）は 54.9% [グラフ-2]、同様に「室内の換気」については 57.0% でした [グラフ-3]。

【グラフ-2】 新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、あなたの家の室内の空気のきれいさへの関心は高まりましたか。



【グラフ-3】 新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、あなたの家の室内の換気への関心は高まりましたか。



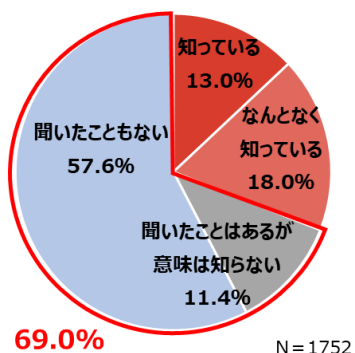
2) 換気の法律に関する知識は少なく、情報収集をしている人も少ない

①24 時間換気の義務化について「聞いたこともない」「聞いたことはあるが意味は知らない」は築 10 年以内の家に住んでいる人の 48.5%と約半数を占める

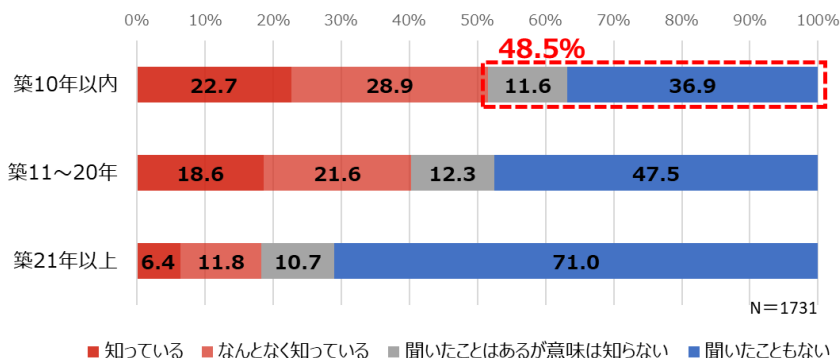
2003 年 7 月以降に着工された住宅には、24 時間換気システムを設置し、2 時間で家の中の空気が入れ替わる量の換気をすることが義務づけられています*3 が、「24 時間換気が法律で義務付けられていること」を「聞いたこともない」「聞いたことはあるが意味は知らない」と回答した人は 69.0% でした [グラフ-4]。築 10 年以内の住宅に住んでいる人でも、「聞いたこともない」「聞いたことはあるが意味は知らない」と回答した人は 48.5% となりました [グラフ-5]。

24 時間換気が法律で義務付けられていることはご存知でしたか

【グラフ-4】 【全体】



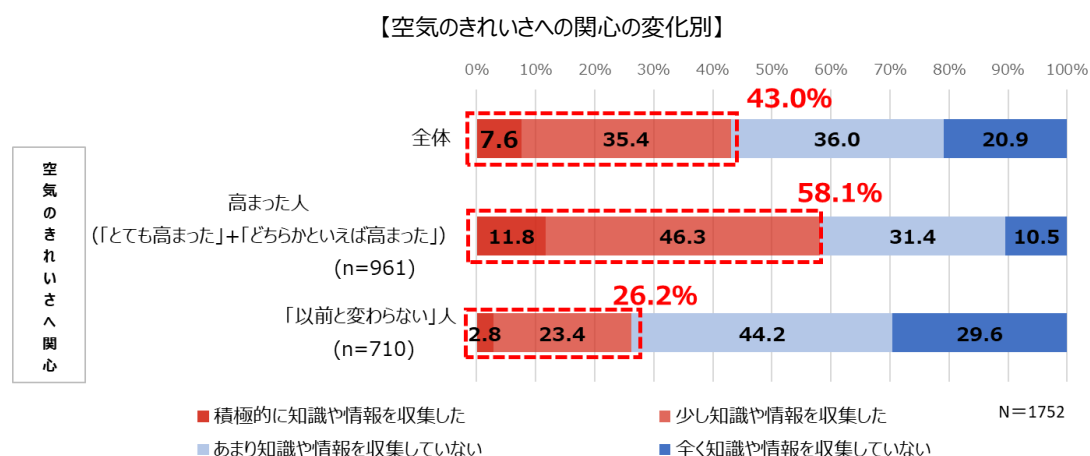
【グラフ-5】 【築年数別】



②換気の知識・情報について、「積極的に知識や情報を収集した」が7.6%に留まる

換気に関する知識や情報について、「積極的に知識や情報を収集した」が7.6%に留まり、「少し知識や情報を収集した」を合わせても43.0%でした。「空気のきれいさ」への関心が高まった人（「とても高まった」「どちらかといえば高まった」合計）では、知識や情報を収集した割合が58.1%で、「空気のきれいさ」への関心が「以前と変わらない」人が情報収集した割合（26.2%）に対して、2倍以上になっており、関心の差が情報収集の差となっています〔グラフ-6〕。

〔グラフ-6〕 新型コロナウイルス感染拡大後、あなたは積極的に、換気に関する知識・情報を得ようとしていましたか。

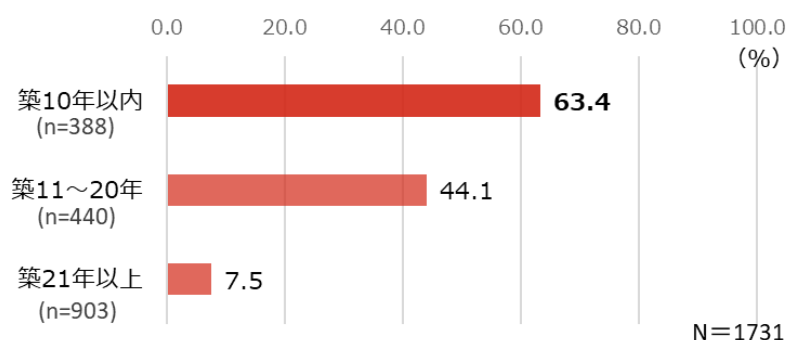


3)「自宅の換気ができていると思っていない」と回答した人の割合は半数を超える

①24時間換気システムを利用していると回答した割合は、築10年以内で63.4%に留まる

家の換気方法について聞いたところ、築10年以内の住宅に住んでいる人で24時間換気システムを利用していると回答した割合は63.4%でした〔グラフ-7〕。2003年7月以降着工の住宅には原則24時間換気システムが設置されていますが、自宅の換気システムについて把握していない方が4割近くいる可能性があります。

〔グラフ-7〕 築年数別、24時間換気システムを利用している割合

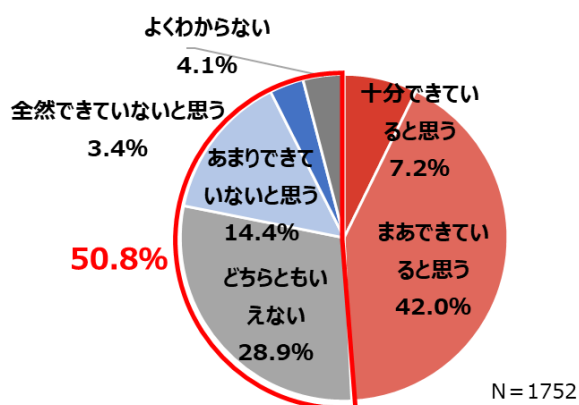


②「自宅の換気ができていると思っていない」と回答した人の割合は50.8%で、半数を超える

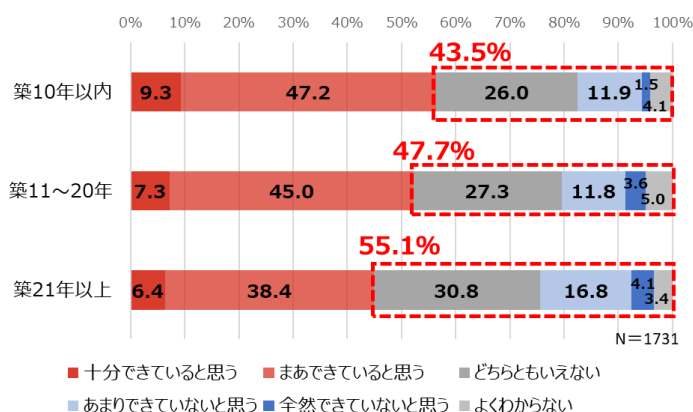
「あなたの家では換気ができていると思いますか」と聞いたところ、「換気ができていると思っていない」と回答した人の割合（「どちらともいえない」「あまりできていない」「全然できていない」「よくわからない」と思う合計）は50.8%に上っていました〔グラフ-8〕。特に築年数が古い人で、「換気ができていると思っていない」と回答した人の割合が高くなっています〔グラフ-9〕。

あなたの家では換気はできていると思いますか

〔グラフ-8〕 【全体】



〔グラフ-9〕 【築年数別】



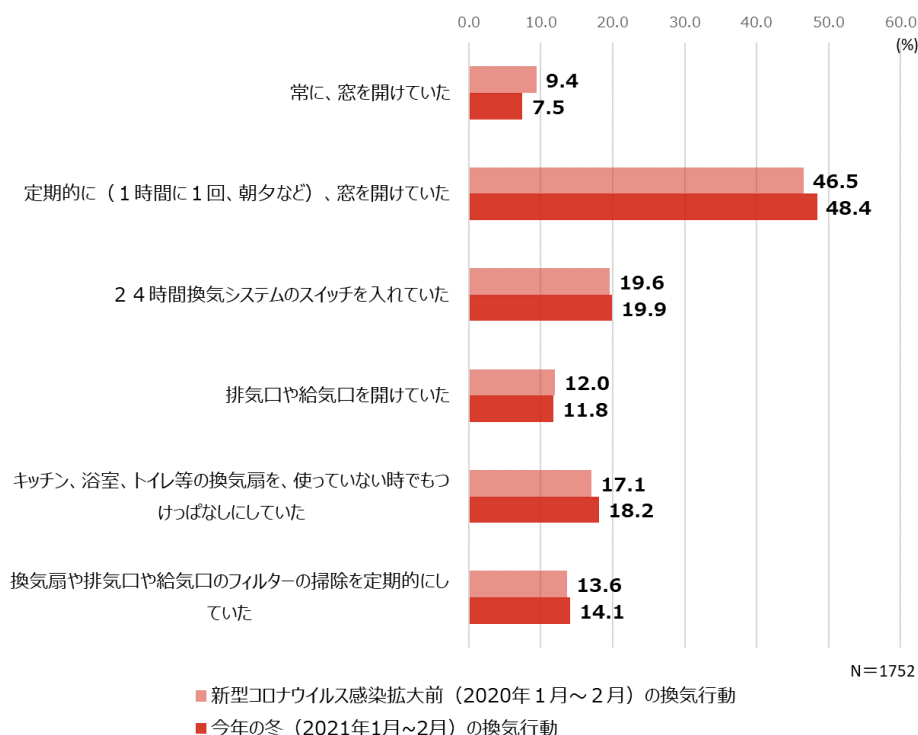
2. 換気に関する行動について

1) 換気方法は、「定期的に窓を開けていた」が最も多く、窓開け回数が増えている

①新型コロナウイルス感染拡大前と今年の冬ともに、「定期的に窓を開けていた」が最も多く、換気方法にはほぼ変化がなかった

新型コロナウイルス感染拡大前（2020年1月～2月）と今年の冬（2021年1月～2月）の換気行動について聞いたところ、大きな変化はなく、「定期的に窓を開けていた」という換気行動をしていた人が最も多く、今年の冬は48.4%となっています〔グラフ-10〕。

〔グラフ-10〕 新型コロナウイルス感染拡大前（2020 年 1 月～2 月）と今年の冬（2021 年 1 月～2 月）の換気行動の変化
（複数回答）

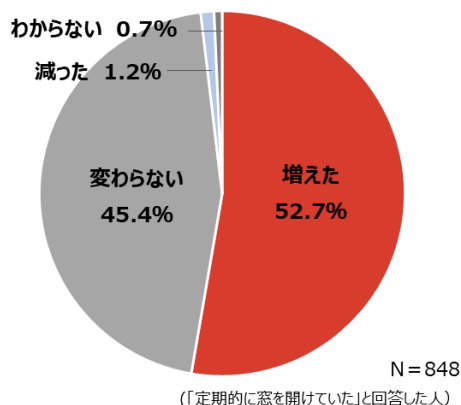


②窓開け回数が「増えた」人が 52.7%、効果的な対面2か所以上の窓開け換気を実施している人は 40.4%

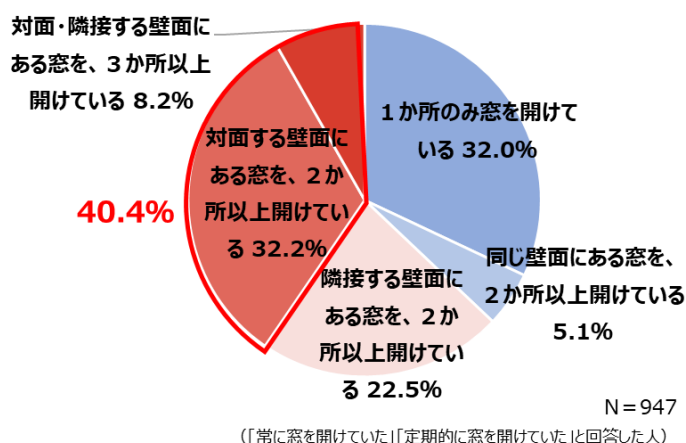
上記の設問で「定期的に、窓を開けていた」と回答した人に対して、窓開け回数が増加したか聞いたところ、「増えた」が 52.7%でした〔グラフ-11〕。

また、効果的な窓開け換気である対面2か所以上^{*2}の窓を開けている人は 40.4%でした〔グラフ-12〕。

〔グラフ-11〕 定期的に窓を開ける回数は、
新型コロナウイルス感染拡大前とくらべて増えましたか。



〔グラフ-12〕 窓開け換気をしている方は、
どのように窓を開けていますか



2) 24 時間換気システムが適切に利用できていない可能性

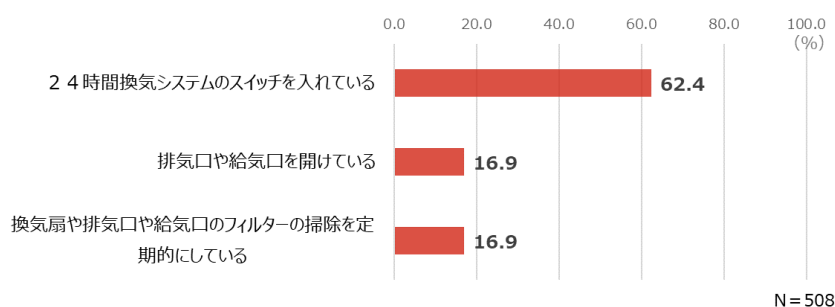
①24 時間換気システムのスイッチを入れていると回答した人は約 6 割

24 時間換気システムを利用していると回答した人の、換気行動についてみてみます。「24 時間換気システムのスイッチを入れている」割合は 62.4%でした [グラフ-13]。24 時間換気システムを設置しているにも関わらず、スイッチを入れている人が 4 割近く存在する可能性があるという結果となりました。

②換気口（排気口や給気口）を開けている人、定期的な掃除をしている人は、ともに 16.9%

24 時間換気システムで、室内の汚れた空気を排出して新鮮な外気を取り込むためには、換気口（排気口や給気口）を開けておく必要がありますが、「排気口や給気口を開けている」割合は 16.9%という結果でした。また、換気を効率的にするには、換気扇や換気口（排気口や給気口）のフィルターを定期的に掃除することが推奨されていますが、掃除していると回答した人は 16.9%でした [グラフ-13]。

[グラフ-13] 24 時間換気システム利用者の、今年の冬の換気行動（複数回答）



IV. まとめ

今回の調査では

- 1) 新型コロナウイルス感染拡大前と比較して室内の「空気のきれいさ」への関心が高まった人は 54.9% いるものの、「自宅の換気ができていると思っていない」と回答した人の割合は 50.8%。
- 2) 24 時間換気が法律で義務づけられていることを「聞いたこともない」「聞いたことはあるが意味は知らない」は、築 10 年以内の家に住んでいる人の 48.5%と約半数を占める。
- 3) 新型コロナウイルス感染拡大前と今年の冬と比較すると、窓開け回数が増えた人は 52.7%、効果的な対面 2 か所以上の窓を開けている人は 40.4%。
- 4) 24 時間換気システムのスイッチを入れている人が多く、換気口（排気口や給気口）を開けている人、定期的な掃除をしている人は、ともに 16.9%。

という結果となり、換気への意識は高まってはいるものの、換気に関する正確な情報が少ない中で換気ができていないと思いながら窓開けをして暮らしている生活者が多く存在することが明らかになりました。

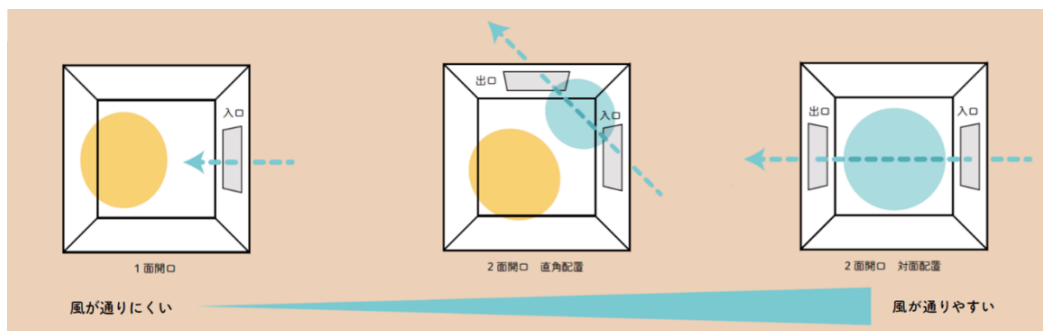
その理由としては、断熱性能や室内の温度等と比べ、換気についてのわかりやすい情報発信がなかったことや、生活者も積極的に情報収集をしていなかったことなどがあげられます。

快適空間研究所では、これまで温熱環境と生活者の意識に関する調査研究や情報発信をしてまいりましたが、今後は、調査で明らかになった「換気」などに関することを含め、コロナ禍において変わりつつある生活者のニーズや新しい暮らし方に対応し、その家族が快適で幸せになる「良質な空間」を創出するための調査研究、情報発信活動を行ってまいります。

* 1 快適空間研究所 (<https://akk-kaitekilab.com/>)

- 1) 名称：旭化成建材株式会社 快適空間研究所
- 2) 所在地：東京都千代田区神田神保町1丁目105番地 神保町三井ビルディング
- 3) 設立：2014年4月
- 4) 所長：白石 真二
- 5) 目的：良質な空間を実現するための情報収集と分析及びそれらの結果を踏まえたコンセプト開発、マーケティング活動。
 - ① 一戸建の温熱環境と生活実態の把握による居住空間での温熱環境ニーズの発掘
 - ② 活動方針に共感いただける社外の関連企業、大学等の研究機関、行政、生活者等との共創
 - ③ 研究成果の社会や生活者への情報発信と断熱事業へのフィードバック

* 2 効果的な窓開け換気の方法として、2つの窓を対面に配置するのが理想的とされています。



参考：旭化成建材 快適空間研究所「あたたかい暮らしのヒミツ」（エクスナレッジ）P.126-127

* 3 2003年の建築基準法の改正により、シックハウス対策の一環として、すべての建築物に機械換気設備の設置が義務付けられ、住宅の場合、換気回数0.5回/h以上（2時間で家の中の空気が入れ替わる量）の機械換気設備（いわゆる24時間換気システムなど）の設置が必要となっています。

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/sickhouse.files/sickhouse_1.pdf

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/sickhouse.files/sickhouse_2.pdf

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

旭化成株式会社 広報部報道室（片山、石川）

TEL:03-6699-3008 E-MAIL: ak-houdou@om.asahi-kasei.co.jp